



休館日に本のお掃除！



4月30日、市立名寄図書館本館では休館日を利用して本の清掃を行いました。

さらに今年度ブックスタート事業を応援してくれるダイナムさんにも本の清掃をお手伝いしていただきました。

図書館員おすすめの1冊

『家事か地獄か』

いながき
稲垣

えみ子||著 2023年 マガジンハウス

天国か地獄どちらがいいですかと問われたら私は天国を選びます。では家事か地獄はときかれましたか？

生きる上で家事は必須。ご飯を作る、茶碗を洗う、洗濯をする、掃除をする…。しかしながらその厄介なこと！一円にもならないし終わりがありません。

じゃあどうすればいいのよ——と思ったあなた。ぜひこちらの本を読んでみてください。作者の稲垣えみ子さんが楽しんでお金の心配もせず幸せに生きる方法を指南してく

れます。デフレ・インフレ・災害・老後もなんのその。ラクに家事をして天国的生活を手に入れましょう。(Ya)

イベントスケジュール

大人のための読み聞かせ 風連分室

日 時:6月28日(土)10:30~11:30

場 所:風連分室

内 容:絵本、紙芝居ほか

3月に本館で開催されたイベントに続き、6月は分室で開催します。
図書館職員と風連読み聞かせの会が心を込めてお届けします。
週末の午前中、ゆったりとした時間の中で、おはなしの世界を楽しんでみませんか？

ボードゲームひろば



日 時:7月20日(日)14:00~16:00

出入りは自由！友だちや家族とワイワイ楽しむもよし、
一人でふらっと参加するもよし！

気軽に遊びに来て、みんなでゲームタイムを楽しもう！

問い合わせ ☎01654-2-4751 又は 図書館カウンターまで

※イベントは変更や中止になる場合があります。HPやX(旧Twitter)でご確認ください。

イベント開催報告

4月26日(土)10:30より名寄本館で「図書館はじめてツアー」を実施しました。

館内の紹介や図書館クイズをしながら図書館のことを知ってもらいました。



ちょっと気になる話題

高齢化が進み、認知症はより身近なものになっています。年齢に関係なく、誰もがなる可能性のあるものだからこそ、当事者や介護をする方だけでなく、すべての人が安心して暮らせる社会を目指したいですね。そのために、認知症について理解を深める本をご紹介します。



『文系のための東大の先生が教えるよくわかる認知症』

とみた たいすけ
富田 泰輔 || 監修 ニュートンプレス 2023年

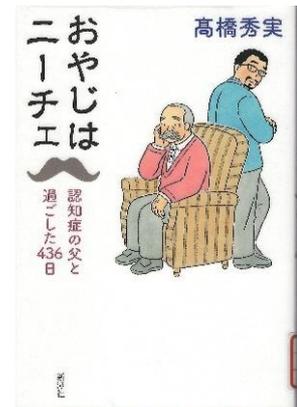
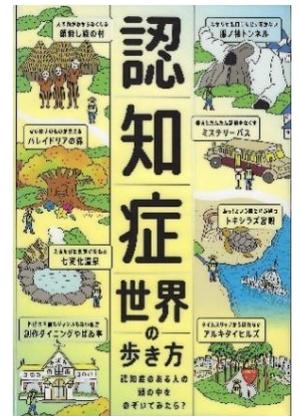
「認知症の基本」「脳の基本」「しくみと治療」「脳を健康に保つ」4つのトピックで基本から予防まで全体がわかる。対話形式でわかりやすい入門書。

『認知症世界の歩き方』

かけい ゆうすけ にんちしょうみらいきょうそう
寛 裕介 || 著 認知症未来共創ハブ || 監修
ライツ社 2021年

今まで認知症の本人がうまく言葉で説明できなかった、生きづらさや困りごとがストーリー仕立てでわかる。

当事者と周囲の気持ちのすれ違いをなくそうという思いで作られた本。



『おやじはニーチェ』

たかはし ひでみね
高橋 秀実 || 著 新潮社 2023年

認知症と診断された父親の言葉をノートに書き留めるなかで考えた「正常な認知」とはなにか。

ノンフィクション作家でもある著者が綴る父親と過ごした436日の記録。



第6回『絵本の読み聞かせの取り組み』

●絵本の読み聞かせとは-----

絵本の読み聞かせは、大切なコミュニケーションのひとつです。家庭では、絵本を通じて自然と会話が増え、言葉のやりとりも豊かになります。保育園や図書館では、みんなで絵本を楽しむ時間が、心に残る温かい思い出になります。

●ボランティアの活躍-----

全国各地で読み聞かせのボランティアが活発に活動しており、名寄でもボランティア団体などによる読み聞かせ活動が行われています。

●図書館と絵本の読み聞かせ-----

子どもたちと本をつなぐことは、図書館の大事な役割です。そのために、図書館ではペンギンクラブやおはなしクラブなどの通年行事やクリスマス会などの季節行事を開催して絵本の読み聞かせを行っています。

まち全体で子どもたちの読書活動を支えます！



名寄市では、第4次名寄市子どもの読書活動推進計画に基づき、図書館・家庭・地域・学校・幼児施設などと連携を図りながら各種取り組みを進めています。



発行：市立名寄図書館

名寄市大通南2丁目

TEL01654-2-4751



(=旧 Twitter)

@nayoro_library

